

今だからこそ、心をつなぐ活動を



多くの人が訪れたイベントブース

本学では、コロナ禍において感染拡大防止策を講じるさまざまな制約の中でも、「学生たちの学びと成長を止めてはならない」との強い方針のもと、学生や教職員の安全を第一に考えながら、学生たちを全力でサポートしている。それに応えるべく、成長への意欲を燃やし続けている学生たち。今回は、そのような学生たちの取り組みを紹介する。

地域と共につくる「祇園・興動祭」でつなぐ喜びを分かち合う

11月14日、「第16回祇園・興動祭」をイオンモール広島祇園で開催した。地域とのつながりや交流によって、祇園地区を活性化させることを目的に平成18年から毎年企画し、今年で第16回目を迎えた。昨年は綿密な感染拡大防止策を講じて企画していたものの、やむを得ず中止となった。満を持して開催した今回のテーマは「つなぐ喜びを分かち合う」。

「つなぐ喜びを分かち合う」をテーマに、本学の興動祭プロジェクトの学生と共に、地域の商工会や社会福祉協議会、青少年健全育成連絡協議会も企画に

参加し、多くの来場者で賑わった。祇園地区で商工業を営む企業の特徴的な商品を紹介し、販売する「祇園マルシェ」では、地元企業の魅力を再認識していただく機会となった。また、広島市内でも近年多発している土砂災害・豪雨被害の経験を防災に活かす「防災展示」や、地域の課題解決に取り組む興動プロジェクト活動の紹介ブースへの関心も高かった。

第16回祇園・興動祭実行委員長の新谷弥也さん（経営学科4年・広島県・広島市立広島商業高校出身）は、「この協力いただいた団体の方から『イベントができて本当に嬉しい』という声をいただき、地域とのつながりの大切さと、『祇園・興動祭』を続けていくことの

人と地域と世界とつながり、成長する学生たちの新たな挑戦

逆境をプラスに変えるオンライン留学で世界とつながる

8月～9月、4日間の短期体験留学プログラム（シンガポール）と4週間の短期語学留学プログラム（ニュージールランド）を初めてオンライン形式で実施した。シンガポールには14名、ニュージールランドには1名が参加。渡航費用がからず、在宅で参加できるため、学生にとっては、またとない機会となった。バーチャルツアーや学生交流があったシンガポールのプログラムに参加した岩本綾乃さん（スポーツ経営学科2年・広島県・広島観音高校出身）は「シンガポールの料理や文化について学ぶことができて、とても楽しかったです。初日は会話も弾まない状況でしたが、グループワークでは、英語で趣味の話や雑談ができるようになった。もう一つは、英語を話せるようになりたいと思うようになった。いつか海外に行けるようになったら会いに行きたいです」と笑顔で語った。



学生が制作した「防災展示」

意義を再認識しました。感染拡大防止に重点を置いて企画していた昨年の経験が、今回の開催に活かされ、多くの方々に『つなぐ』ことの楽しさと喜びを感じていただけたと思います」と笑顔で語った。

これからは、地域の方々と喜びを分かち合い、成長する学生たちの活躍に期待したい。



信頼関係を築きながらインタビュー取材をする西野さんたち

メディアビジネス学科3年次生の3名が、ドキュメンタリー映像「黒い雨から」を制作した。ドキュメンタリー制作に挑戦したい、という思いを強く持つ有志の学生が集まり、徳永博充名誉教授（メディアビジネス学科）のサポートのもと、令和2年の秋から1年以上かけて作られた。昭和20年8月6日、原爆が投下された直後に広島市周辺には放射線物質が降った。国が指定した被爆者援護の対象区域外でも多くの人が病で倒れており、被爆者認定を求めて訴訟が行われていた。学生たちは、対象区域に含まなかった湯来町を30回以上訪問し、住民の方々へ丁寧な取材を行った。

人と人がつなぐドキュメンタリー作品

メディアビジネス学科3年次生の3名が、ドキュメンタリー映像「黒い雨から」を制作した。ドキュメンタリー制作に挑戦したい、という思いを強く持つ有志の学生が集まり、徳永博充名誉教授（メディアビジネス学科）のサポートのもと、令和2年の秋から1年以上かけて作られた。昭和20年8月6日、原爆が投下された直後に広島市周辺には放射線物質が降った。国が指定した被爆者援護の対象区域外でも多くの人が病で倒れており、被爆者認定を求めて訴訟が行われていた。学生たちは、対象区域に含まなかった湯来町を30回以上訪問し、住民の方々へ丁寧な取材を行った。

と強く感じ、作品のテーマを選びました」と作品作りへの思いを語った。

事前調査では、「黒い雨」に関する新聞記事や「黒い雨」訴訟を支援する会の「黒い雨」訴訟によって苦しんでいる人というところ、そして、生活水源の汚染と内部被ばくの問題は、私たちに無関係ではないということ。この作品が、多くの人の考えるきっかけになれば嬉しい」と力強く語った。

作品は東京ビデオフェスティバル2022にエントリーされており、YouTubeで視聴できる。



取材で訪れた湯来町にて（徳永名誉教授と有志の学生たち）



Copyright © Fukuoka SoftBank HAWKS Corp. All Rights Reserved.

2021年秋の表彰受章者が発表され、学術研究や芸術、スポーツなどの分野で活躍した人に贈られる紫綬褒章を受章した。これからは柳田悠岐選手の活躍から目が離せない。

8月7日、東京2020オリンピックで野球の決勝戦が行われ、本学卒業生の柳田悠岐選手が日本代表「侍ジャパン」がアメリカ代表を下し、金メダルを獲得。本学初のオリンピックメダリストが誕生した。

柳田悠岐選手は、五輪開催直前まで右脇腹の違和感で別メニューで調整を続けていたが、見事な回復力で間に合い、見事な活躍を見せた。日頃から「広経」を応援する学生たちから、大に行っていないと、今の僕はない」と口にし、「地方の大学から良い選手になるんだ」と言い続けて、見事にオリンピック出場を果たし、金メダル獲得に貢献した。

また、9月21日、広島県からは、東京2020オリンピックで輝かしい業績をあげ、広く県民に夢と希望を与えた功績を称え、県民栄誉賞が授与された。

さらに、11月2日、2021年秋の表彰受章者が発表され、学術研究や芸術、スポーツなどの分野で活躍した人に贈られる紫綬褒章を受章した。これからは柳田悠岐選手の活躍から目が離せない。



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号(082)871-1000(代)
オフィシャルサイト <https://www.hue.ac.jp>

- 2面 ゼミ活動紹介
- 3面 私の就職活動体験記
- 4面 令和3年度前期学位記授与式挙行
- 5面 随想/私のゼミナール雑感
- 6面 令和4年度学生募集要項

本学初のオリンピックメダリストの誕生

ゼミ活動紹介

細井ゼミ

オタフソース

「お好み焼き市場の活性化を目指す
マーケティング案を提案」

経営学科の細井ゼミでは、本学と包括連携協定を結ぶオタフソース株式会社と協同し、マーケティングに関する研究に取り組んでいる。これまで、本学地域経済研究所（所長 細井謙一教授）を中心に、新型コロナウイルス感染症拡大によるお好み焼き業界への影響に関する実態調査を2020年4月から4回実施してきた。2021年6月、その結果報告からお好み焼き店の苦しい現状を知った学生たちが、若い感性で店舗を盛り上げるアイデアを考案しようと立ち上がった。6班に分かれて18店舗への取材を実施。コロナ禍で来客数の予想が難しく、廃業しなくてはならない食材が増えたことや、若者のお好み焼き離れによって客層が高齢化している現状などが見えてきた。各班でそれぞれの店舗の実情に合った打開策を検討し、8月にオタフソース株式会社にて中間発表と意見交換を実施した。その後、学生たちはさらなるブラッシュアップを図り、緊急事態宣言下においてもオンラインで発表しハイスールを行うなど意欲的に取り組んだ。

そして11月、オタフソース株式会社との公開研究会を開催。オタフソースを核に消費者と生産者をつなぎ、市場活性化とフードロス削減を同時に目指す「OCONNECT（オコネクト）お好み焼き+コネクト」や、お好み焼きの消費量が少ない若者市場を取り込む「お好み焼きの定額サブスクリプション」若年層をターゲットにした広報支援で市場活性化を目指す「TikTokで魅せるお好み焼き」など、学生ならではのアイデアが発表され、大きな手応えを得た。



大学生や若い世代のたちがグループで食事をすると「お好み焼き」が選択肢に入らなくなるという課題を「お好み焼きの定額サブスクリプション」を考案した。月額980円でお好み焼きを月2枚食べることができ、得な定額サービスで、誕生日などのライフイベントにたいと思っています。



経営学科3年
広島県/廿日市西高校出身
西野 紗也加さん

お好み焼き文化を守りたい
サブスクリプションで
飲食店に新しい発見を！



経営学科3年
広島県/神辺旭高校出身
中田 結衣さん

多角的な視点で
斬新なアイデアを提案！



「OCONNECT（オコネクト）お好み焼き+コネクト」というプロジェクトを考案し、「つなぐ」をキーワードに2つの企画を提案しました。ひとつは、お店とお客様をつなぐ「スタンプリー」です。店頭でQRコードでポイントを集めてプレゼントがもらえる参加型イベントで、若者の来店機会を増やすことを目指しました。もうひとつは、廃棄食材に着目した「フードロス削減コミュニティ」です。お店と食材の生産者をつなぎ、食材を必要とする必要な分だけ購入できる仕組みづくりを考えました。今回の経験を通して、お好み焼き店や食材の生産者、消費者など、多角的な視点で物事を考える力が鍛えられました。

企業の方からコメント

コロナ禍で多くのお好み焼き店様が厳しい状況の中、SNSの活用など若者らしい新鮮な切り口のご提案をいただきました。実現可能な内容も多くあり、効果測定など課題もありますが、ぜひ前向きに検討して参ります。

オタフソース株式会社
お好み焼館 館長 新本頭三 氏

教員からコメント

この研究会は、コロナ禍で活動が制限されてきた学生たちにとって、久々に実社会と触れ合う機会になりました。自分たちが学んでいることが社会でどう生かされるかを考えることで、経営学が実学なのだと実感できたと思います。

経営学部 経営学科 細井謙一 教授

商品開発に取り組むなかで特に大切にしたいのは、「どんな状況で、どんな人が使うブックカバーなのか」をしっかりとイメージしたことです。単なるモノのデザインではなく、商品を使うことで利用者がどのような体験をできるのか、どのような「UXデザイン」を据えた「UXデザイン」を実践的に学び、ゼロから考えることの楽しさを実感できました。素材や形にこだわって企画した商品のサンプルをいただいたときの感動は忘れられません。企業の方と関わるなかで学んだことは、自分たちが本気で考え、全力で取り組む姿勢こそが確かな成果につながっているということです。プロの方の視点や考え方の全てが成長の力になりました。



メディアビジネス学科4年
広島県/広島高校出身
福岡 龍河さん

全てが初めての挑戦
企画力と協調性が鍛えられた！



メディアビジネス学科3年
山口県/下関南高校出身
津畑 明生さん

夢中になった1年間
トライ&エラーで成長し、
商品開発の楽しさを実感！

「Hiroshimaで本を読む」をコンセプトにし、「本を読む時間」や「本と過ごす思い出」を提供するためのブックカバーを考案しました。販売スペースにも行き、どのようなディスプレイがお客様の目に留まるのかを考え、販売促進のためにはどのSNSで誰をターゲットに広告を打つかなど、より具体的に販売戦略を考えました。

仲間と意見が合わず落ち込んだり、商品企画の講評会の後に反省点に気づいて悔しい思いをしたりもしました。それでも頑張ったのは、自分の思いが形になる「商品開発」に大きなやりがいを感じたからです。このプロジェクトを通して、考えることの楽しさを実感し、主体的に行動する自信ができました。



企業の方からコメント

真剣に取り組む表情や、結構頭を悩ませて考えたんだろうな、という姿は企業側の私も真剣に取り組まなければ！と逆に良いプレッシャーを受けた1年でした。この経験を受けて1人でも多くの学生にさらに良い広島を創ってほしいです。

株式会社ポップジャパン
マーケティング部 部長 稲田裕一郎 氏

教員からコメント

何度もプレゼンしても、決して弱音を吐かなかったゼミ生を誇りに思います。また辛抱強く付き合っている企業の方にも感謝がありません。失敗から学ぶことは多い。ゼミ生にはこれまで得たものを自分の糧として最後までやりきってほしいです。

メディアビジネス学部 メディアビジネス学科
宮地英和 准教授



ゼミ活動紹介

宮地ゼミ

ポップジャパン

「UXデザインのブックカバーが商品化！」



メディアビジネス学科の宮地ゼミでは、地元企業の株式会社ポップジャパンと協同で、「若者の感性で布の可能性と魅力を追求したUXデザイン」をテーマとする商品開発のプロジェクトに2020年より取り組んできた。

学生たちは、株式会社ポップジャパンの企業見学を通して、モノづくりやマーケティングについて学んだほか、マーケティング部長の稲田裕一郎氏を大学にお招きし、プレゼンテーションを重ねて商品のブラッシュアップを図ってきた。2020年11月、12月の中間発表ではさまざまなアイデアが発表され、そのなかから「ブックカバー」と「スマートフォンケース」の2点が候補に絞られた。その後、試作品を作った課題の洗い出しと検証を行った結果、より利用者が広い「ブックカバー」の案を進めることが決定。これに伴い、株式会社廣文館のご協力のもと、広島駅の商業施設「ekie」の書店で販売することが決まった。今年10月に行われた最終発表では、販売場所の立地を考慮し、観光客やビジネスパーソンなどにターゲットを絞り、ブックカバーの図柄には広島の特産品を用いたデザイン案が出されるなどさらなる考察を重ねた。そして来年2月、商品が完成する。1年間にも及ぶプロジェクトでは、2〜4年次生の3学年が関わることであり、各学年の学生たちが、互いに刺激を受けながら学びの経験となった。2022年2月から、広島駅「ekie」2階の「廣文館」で販売を開始する。多くの方々の協力を得て、学生たちの思いが形となる。

私の就職活動体験記

大学独自の公務員養成講座が 夢を叶える力になった

内定先 大洲市役所

両親が市役所に勤めていたため、幼い頃から公務員への憧れがありました。将来について本気で考えたとき、公務員を目指すようになりました。

大学では1年次から公務員試験に向けた勉強を始めましたが、中でも広島経済大学独自の「公務員養成講座」が夢を叶える大きな力になりました。何について勉強すればいいかわからず、効率的に勉強を進めることができただけでなく、公務員を目指す仲間と励まし合って学べる環境があったことが心の支えになりました。また、公務員試験では、経済・経営分野のほかに民法や憲法の問題が出題されますが、そのほとんど分野を大学の授業で学べたことも公務員試験を乗り越える力になりました。



公務員として地元に貢献したい

経済学科4年 蔵本亜香里さん

愛媛県/内子高校出身

●就活 MUST アイテム●

集中できる場所

図書館ではいつも同じ席に座り、調べものや課題に取り組みました。就活活動で苦戦したときも、集中できる場所があれば落ち着いて作業できます。



大学の就職支援で 苦手なことを克服し、短所も強みに！

内定先 三浦工業株式会社

就職活動で特に苦労したのは面接対策です。人見知りの性格で不安があったので、面接に取り組みました。担当の職員の方にじっくり丁寧

にアドバイスをいただきながら、企業の面接と同様の緊張感を維持するために、毎回の面接練習に積極的に参加しました。こうした工夫をしたことで、面接への苦手意識を克服することができました。

また、心配性なため、学びを資格という形に残しておきたいと思い、ファイナンシャル・プランニング技能検定2級、リテールマーケティング（販売士）検定2級、日本漢字能力検定2級を取得しました。

自己分析では「心配性」を異なる側面から見つめ、「自分が納得するまで学び、追求する力」という長所として捉え直すことができました。社会人として仕事に責任感を持つて取り組む力



早期対策が夢をつかむ力に

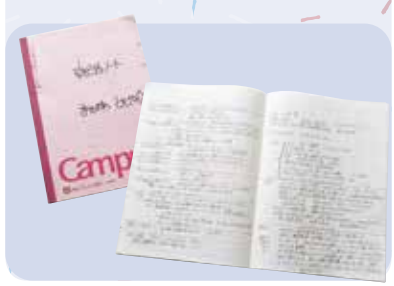
経営学科4年 小川智哉さん

愛媛県/大洲高校出身

●就活 MUST アイテム●

就活ノート

自己分析や企業分析など就職活動に関する内容を全てノートにまとめ、試験会場に持ち参りました。待ち時間などに読み返すことで、安心して採用選考に臨むことができました。



記者として地域の声を届けたい

メディアビジネス学科4年 前田薫奈さん

広島県/広島井口高校出身

学びと経験を 「伝える言葉」にする力を磨いた

内定先 株式会社中国新聞社

1年次のときに西日本豪雨で被災した経験から、地域の声をもっと多くの人に届かせたいと思い、記者を目指しました。新聞社を志望したのは、地域に埋もれた小さな声を記者の言葉でスピーディーに伝えられる「最強」のメディアだと思ったからです。

入学時からマスコミ業界を目指すことを決意し、授業でのドキュメンタリー制作や、地域の情報をラジオで伝えるプロジェクト活動など、夢の実現につながる経験を積み重ねてきました。しかし、2年次に挑戦したインターンシップでは、書類審査で50社中35社が不採用。自信があつた面接でも不採用が続

くなど、悔しい経験をしました。これをきっかけに、これまでの自分の経験や成長を言語化し、ロジカルに話せるように猛練習。その成果が実際の就職活動で活かされました。キャリアセンターの職員の方にも相談に乗っていただき、中国新聞社の人事の方が大学に来られたときにお話する機会を作ってくださいなど、全力で応援していただきました。

これからも、自分の言葉を磨き続け、どんな小さな声も拾い、社会への問題提起や災害報道ができる唯一無二の記者になりたいと思っています。



ソフィーの世界
哲学者からの不思議な手紙。
上・下2冊
著者名：ヨースタイン・ゴル
フル著/池田香代子訳
出版：NHK出版

●就活 MUST アイテム●

哲学の本(『ソフィーの世界』)

この本で「無知の知」を学びました。自分が無知であると理解しているからこそ、学びへの一歩を踏み出せるのだと実感。学び続け、成長し続ける姿勢を身につけることができました。

●就活 MUST アイテム●

モバイルバッテリー

長時間の外出時に企業からの電話に対応したり、ネットで情報収集したりするのに必須です。あらかじめ、コンセントが利用できるカフェなどを調べておくといいというとき役立ちます。



保健・福祉・介護の分野を IT技術で支えるプロになる

内定先 日本コンピュータ株式会社



学びの全てが将来につながる

ビジネス情報学科4年 兼森湧佑さん

広島県/広島工業大学高校出身

●就活 MUST アイテム●

企業研修でいただいたメッセージ

2年次に行った企業研修で社員の方から「また一緒に働けることを楽しみにしています」とメッセージをいただきました。内定までお守りとして壁に貼り、頑張る力をもらいました。



誰かの役に立つサービスを提供したいと考え、IT業界を目指しました。中でも、より多くの人々の生活を支える保健・福祉・介護の分野でシステム開発を推進する企業を選びました。

コロナ禍による就職難に鑑みて「早く始めなければ」という焦りを感じながら3年次から就職活動をスタート。内定先企業との出会いは、3年次の10月に行われたWeb合同セミナーでした。アットホームな社風に惹かれ、11月のインターンシップに参加し、ここからキャリアのスタートが切られました。

今後は、自分が携わった仕事で助かる人がいるなど、仕事へのやりがいを持って働きたいと思っています。

また、「ビジネス日本語」では社会人としてのメールのマナーや正しい敬語を学んだことも、就職活動で役立ちました。

経大祭を「新しい形」で開催

10月24日、一日開催、学生・教職員限定、アーティストLIVEの中止など、さまざまな制約のなか、感染拡大防止策を講じたうえで大学祭「経大祭」を開催した。コロナ禍でさまざまな行事が中止になり、思うような大学生活を送れていない状況下ではあるが、大学祭実行委員会と大学側が協議を重ね、大学生活の思い出に残る経大祭を目指して開催が実現した。当日の様子はオンラインでLIVE配信も行った。今回のテーマは「precious」。この「precious」という言葉には、貴重な時間・経験といった意味があり、広島経済大学の学生がこれからの大学生活に希望を持ち、貴重な時間を過ごせるように、という思いが込められている。参加者はもちろん、ステージイベントなどで舞台に立った学生は、今までの成果の発表の場として、貴重な経験を積むことができた。また、大学祭実行委員会のメンバーはこの新たな

な試みに挑戦し、大学祭実行委員長の大山響さん（スポーツ経営学科3年・広島県／高陽東高校出身）は「コロナの影響により、さまざまな学内イベントが中止となりましたが、今回の経大祭を開催することができ、本当に嬉しかったです。参加者の皆さんの笑顔が、実行委員の笑顔・やる気につながりました。素晴らしいひと時になったと思います」と成功を喜んだ。

19時からはサプライズで500発の花火があがり、「サプライズに感動した」「とても綺麗だった」など地域の方々にも感動の輪が広がった。



サプライズ花火

写真提供：有限会社森上煙火工業所様



新しい模擬店の形



キッチンカー!!



令和3年度前期資格・能力等表彰者



学長表彰者

▽学長表彰者
●TOEIC「600点以上」井原圭悟（経営学科4年）、高松未輝（スポーツ経営学科3年）
▽学部長表彰者
●日商簿記検定「2級」石

石橋且登（経済学科2年）、住田名優（ビジネス情報学科2年）、片山美里（ビジネス情報学科2年）



学部長表彰者

令和3年度前期学位記授与式挙行



学位記を受け取る卒業生

9月30日、第26回前期学位記授与式が、本学大会議室において厳粛に執り行われた。

晴れて卒業の日を迎えたのは、経済学部26名（経済学科5名、経営学科15名）、ビジネス情報学科2名、メディアビジネス学科1名、

スポーツ経営学科3名）の学生。新型コロナウイルスの感染拡大防止を徹底し、保護者の方々にも参列いただき、石田恒夫理事長をはじめとする学園関係者、教職員が見守るなか、石田優子学長から一人ひとりに学位記が手渡された。

式辞に立った石田優子学長は、「皆さんの旅立ちにあたって、今一度、『大学の道は明徳を明らかにする』の道は明徳を明らかにする。『あり』の言葉を贈ります。皆さんが大学生活時代に幾度となく聞き、覚えたであろう、広島経済大学の、開学の理念であるこの言葉を

にも参加し、幅広く活動していること。向田さんは現在、販売・研究・イベント企画・SNS発信などの仕事に携わっている。会場には学年を問わず17名の学生が参加し、向田さんの話に熱心に耳を傾けた。

質疑応答では、学生から就職活動のこと、休日の過ごし方、学生生活で力を入れていることなどの質問があり、向田さんからは、「とにかく自分で行動を起こすことが大事です。さまざまな活動に参加して、他者と関わることで自分が見えてきます。自己分析の参考にもなります。就職活動では気持ちや沈むこともありますが、どこかで自分を愛してあげること、自分を忘れないでください」という温かいメッセージ

「聞いてみよう！こまちの先輩！」を開催

7月29日、明徳館7階にてキャリアデザイン講演会「聞いてみよう！こまちの先輩！」を開催した。このイベントは、実社会で活躍中の卒業生から直接、現在の仕事の様子や学生時代の様子、社会人としての心得といった話を聞き、今後のキャリアデザインを考えることを目的としており、女子学生会「こまち会」が主

体となって開催運営を行っている。今回は講師に、卒業生の向田ゆき菜さん（勤務先・メガネの田中チェリーsewERHOUSE 南堀江店 メディアビジネス学科2015年3月卒業・広島県／広島国際学院高校出身）をオンラインでお招きし、日々の仕事内容や就職活動の話、学生時代の思い出などを話した。



オンラインでコミュニケーションを図る女子学生たち

スポーツ経営学科の学生たちが 運営ボランティアとして参加

7月18日、フットボールパークにおいて、株式会社スリーボンド主催「KAMAMOTO Football Festival in 広島」が開催され、本学スポーツ経営学科の学生たちが運営ボランティアとして参加した。

「KAMAMOTO Football Festival」は、年3回全国の小学生を対象に、サッカーの普及促進を図るスクールで、今回は小学生約100人が参加した。講師には、元サッカー日本代表で男子の単独最多得点記録保持者である釜本邦茂氏に加え、特別講師としてサンフレッチェ広島クラブ・リレシオンズ・マネージャーの森崎和幸氏と同アジアカップの森崎浩司氏も参加。



ボランティア活動をする様子

今回、学生たちはこのスポーツイベントを支える裏方を経験。運営から受付、運営補助、撤収まで実際にスポーツイベントの運営に携わり、大変さや厳しさ、そして

て参加者の笑顔を見る喜びなど、実践を通して多くの学びを得た。

サークルニュース

バドミントン部1年次生が全国大会初出場



笑顔みせる森川・石田ペア



ベスト16を果たしたソフトボール部

広島県・安田女子高校出身のペアが女子ダブルスで準優勝した。この準優勝により、10月15日・21日に奈良県で開催された令和3年度秩父宮・秩父宮妃杯争奪第72回全日本学生バドミントン選手権大会への出場権を獲得。

全国大会出場はバドミントン部として初めての快挙となった。1回戦は法政大学と対戦し、0-2で敗れた。

ソフトボール部が全国大会でベスト16

9月11日・13日、岩瀬スポーツ公園ソフトボール広場（富山県）にて開催された文部科学大臣杯第56回全日本大学男子ソフトボール選手権大会において、本学ソフトボール部が中国地区代表として出場した。1回戦で東京理科大学（関東地区代表）に勝利。2回戦で日本体育大学（東京都代表）に敗れたが、16年ぶりのベスト16入りを果たした。



相手と競り合うサッカー部員

女子ハンドボール部創部8年目で全国大会初出場

10月3日、広島経済大学石田記念体育館にて開催された令和3年度全日本学生ハンドボール選手権大会出場決定戦（中四国大会）において、本学女子ハンドボール部が山口大学に32-14で勝利し、創部8年目で初の全国大会出場を決めた。11月6日・10日に山梨県で開催された高松宮記念杯男子第64回・女子第57回令和3年度（2021年度）全日本学生ハンドボール選手権大会へ挑み、1回戦は桐蔭横浜大学と対戦し、15-48で敗れた。

私のゼミナール 雑感

88

経済学部
経済学科
堀江 真由美 教授

学生たちにゼミで学んでほしいことは山ほどある。経済学の専門知識を深めてもらいたいし、就活で困らないようプレゼン力や質問・コメント力も磨いてほしい。が、やはりインプットよりもアウトプット。特にこのコロナ禍を経て、ゼミで最も重視したいのは、仲間と一緒に「発信する力」だ。

前期の演習Ⅰでは、4グループに分かれ、それぞれ選んだテーマについてプレゼンし、全員でディスカッションを行った。「東京オリンピックは開催すべきか」「福島原発処理水の海洋放出」「高齢者ドライバー事故をいかに防ぐか」「インターネットの誹謗中傷をなくすには」といったタイムリーなトピックについて、それぞれが詳しく念入りに調べて発表し、熱い議論が交わされた。一見すると経済学からは遠く離れているような社会問題に見えるが、オリンピック開催に伴う感染対策、処理水放出に伴う境界損失の算定

「発信する力」を養う



サポカー補助金、誹謗中傷の書き込みに対する罰金制度など、金銭的なインセンティブを上手く使いながら制度設計することで解決に近づけられることも多い。後期は、因果推論について学ぶ傍ら、隔週で同様のプレゼン+ディスカッションを計画している。いや、実をいうと、今回はプレゼンの代わりに30分以上のビデオを作ってもらったことにした。なぜなら、今はTikTok、Youtube、Instagram、Twitchの時代（らしい）。就活の面接もオンラインだし、ビデオ映えは重要な資質だ。後期のお題は「格差」「コロナ対策」「地球温暖化・気候変動」。さて、どのようなビデオが完成することか。「経済学の力」が発揮されることを期待する！

（ミクロ経済学基礎Ⅰ、ミクロ経済学、産業組織論、Basic Principles of Economics、大学入門Ⅱ、行動入門Ⅱ）



レース前に集中する山崎選手

陸上競技部が第90回日本学生陸上競技対校選手権で入賞

9月17日・19日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場（埼玉県）にて開催された天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会において、本学陸上競技部の山崎優希選手（スポーツ経営学科3年・兵庫県・東播工業高校出身）が、中距離種目である800mで7位、1500mで4位と2種目入賞を果たした。



社行会後の女子ハンドボール部員たち

女子ハンドボール部創部8年目で全国大会初出場

10月3日、広島経済大学石田記念体育館にて開催された令和3年度全日本学生ハンドボール選手権大会出場決定戦（中四国大会）において、本学女子ハンドボール部が山口大学に32-14で勝利し、創部8年目で初の全国大会出場を決めた。11月6日・10日に山梨県で開催された高松宮記念杯男子第64回・女子第57回令和3年度（2021年度）全日本学生ハンドボール選手権大会へ挑み、1回戦は桐蔭横浜大学と対戦し、15-48で敗れた。

随想

コロナ禍で、さまざまな活動が中止や延期になるなか、興動館プロジェクトも活動自粛が続いている。興動館プロジェクトという教育プログラム、やはり活動あつてこそ。さてはどうしたものかと思いきやコロナに負けるかオンラインでの会議、打ち合わせ、ZoomやTeamsを使って新しい企画やコロナ対応した活動にと、学生たちは工夫を凝らし、活動は徐々に再開しはじめた。元気が出る声が聞こえ始めた。私がコーディネーターを受け持つ「スポーツによる地域活性化プロジェクト」「武田山まちづくりプロジェクト」「コミュニティFM放送局運営プロジェクト」をはじめ、多くの教職員が取り組んでいる。

未来に向かって！



経営学部 スポーツ経営学科／興動館プロジェクトセンター長 中村隆行 准教授

の広島県内のスポーツチームだ。バドミントンにソフトテニスなど企業スポーツクラブを加えて9種目10団体で組織するNPO法人広島トップスポーツクラブ。ネットワークという全国でもモデルとなるNPOがある。本学の「スポーツによる地域活性化プロジェクト」のメンバーはこのNPOと協働して子どもたちをスポーツのすばらしさを伝えるためスポーツ教室やファン感謝祭の開催を通じてスポーツの魅力の普及と地域活性化に取り組んでいる。

話を休題。

広島東洋カープにサンフレッチェ広島、JTサンダーズ広島、ワクナガレオリック、イズミメイプルレッズ、コカ・コーラレッドスパークス、広島ドラゴンフライズ、皆さんご存知のとおり、広島県には多くのプロスポーツチームがある。この地域活性化プロジェクトのメンバーはこのNPOと協働して子どもたちをスポーツのすばらしさを伝えるためスポーツ教室やファン感謝祭の開催を通じてスポーツの魅力の普及と地域活性化に取り組んでいる。

サークル戦績

- 陸上競技部が第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走に出場
- 10月10日、本学陸上競技部が、全日本大学駅伝（熱田伊勢間）、箱根駅伝と並び、大学三大駅伝を飾る第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走に、中国四国地区代表として2年ぶり19回目の出場を果たした。
- 当日は出雲市で10月観測史上最高気温の31.8℃
- 陸上競技部
- ▽天皇賜杯第90回全日本学生陸上競技対校選手権大会（800m）山崎優希（7位）
- ▽「1500m」山崎優希（4位）
- ▽「5000m」福永恭平（20位）
- ▽「10000m」福永恭平（18位）
- ▽「走幅跳」小藤嵐（39位）
- ▽「100mハードル」藤岡凜来 出場
- ▽第33回出雲全日本大学選抜駅伝競走（総合16位）
- ▽卓球部
- 第53回全日本大学駅伝対校選手権大会（日本学連選抜）福永恭平（区間12位）・山崎達哉 選出
- ▽ソフトボール部
- ▽文部科学大臣杯第56回全日本大学男子ソフトボール選手権大会（大会第1日目）
- ▽「1回戦第1試合」広島経済大学 7-3 東京理科大学（大会第2日目（2回戦）第1試合）
- ▽広島経済大学（ベスト16）
- ▽空手道部
- ▽第65回全日本大学空手道選手権大会出場



陸上競技部OB有志及び学生課職員が沿道に設置した応援旗

（スポーツ組織論、コミュニケーションビジネス論、興動館入門ゼミ、興動館プロジェクトの計画と実施、プロジェクトの評価と改善、NPO・NGO立ち上げと活動、身近なボランティア活動、興動館プロジェクトの経営戦略）

次世代を担う学生たちの活動に期待しつつ、本学・興動館プロジェクトが取り組むPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）は、今の混沌と不確実な世代なれど、新しい可能性にむけて新機軸を打ち出していかなければならないのかもしれない。

令和4年度 学生募集要項

学部及び大学院の入試要項を配付しています。
お申込みは本学オフィシャルサイト・電話・メールなどで。
〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
(学部・大学院) 入試広報センター ☎ 082-871-1313 / ✉ ent-sc@hue.ac.jp
(留学生) 国際教育交流センター ☎ 082-871-1002 / ✉ int-sc@hue.ac.jp

■大学院 博士課程前期課程

【一般選抜(Ⅱ期)】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程 [研究者養成コース・経済学専修コース]10名(外国人留学生を含む)
出願期間	2022年1月4日(火)～1月18日(火)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月21日(月)・22日(火)
合格発表	2022年2月28日(月)午前10時

【社会人特別選抜(Ⅱ期)】

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程 [経済学専修コース]若干名(外国人留学生を含む)
出願期間	2022年1月4日(火)～1月18日(火)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月22日(火)
合格発表	2022年2月28日(月)午前10時

■大学院 博士課程後期課程

募集人員	経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程 [研究者養成コース]3名(外国人留学生を含む)
出願期間	2022年1月4日(火)～1月18日(火)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月21日(月)
合格発表	2022年2月28日(月)午前10時

■学部 学校推薦型選抜(資格スカラシップ)【2期・3期】

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2022年1月4日(火)～1月21日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月6日(日)
合格発表	2022年2月17日(木)午後3時
出願期間	2022年2月18日(金)～2月25日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年3月4日(金)
合格発表	2022年3月11日(金)午後3時

■学部 一般選抜(1期・2期・国公立受験生支援入試)

募集人員	経済学部(経済学科105名)／経営学部(経営学科100名・スポーツ経営学科25名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科25名・メディアビジネス学科25名)
出願期間	2022年1月4日(火)～1月21日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月6日(日)・7日(月)
合格発表	2022年2月17日(木)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科20名)／経営学部(経営学科20名・スポーツ経営学科5名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
出願期間	2022年2月18日(金)～2月25日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年3月4日(金)
合格発表	2022年3月11日(金)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科10名)
出願期間	2022年1月4日(火)～1月21日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月6日(日)・7日(月)
合格発表	2022年2月17日(木)午後3時

※試験日自由選択制 2月6日・7日の試験日をどちらか、又は両日とも選択することができます。両日とも同一学科を受験した場合は、高い方の合計得点で選考します。【2期以外】
※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。【国公立受験生支援入試以外】

■学部 共通テスト利用選抜(1期・2期)

募集人員	経済学部(経済学科40名)／経営学部(経営学科40名・スポーツ経営学科10名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名)
出願期間	2022年1月4日(火)～1月28日(金)【締切日消印有効】
合格発表	2022年2月17日(木)午後3時
募集人員	経済学部(経済学科10名)／経営学部(経営学科10名・スポーツ経営学科5名)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名)
出願期間	2022年2月18日(金)～2月25日(金)【締切日消印有効】
合格発表	2022年3月11日(金)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。

■学部 社会人入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2022年2月18日(金)～2月25日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年3月4日(金)
合格発表	2022年3月11日(金)午後3時

■学部 編入入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2022年2月18日(金)～2月25日(金)【締切日消印有効】
試験日	2022年3月4日(金)
合格発表	2022年3月11日(金)午後3時

※事前審査で編入学年が決定している場合のみ出願することができます。

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2022年1月4日(火)～1月18日(火)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月2日(水)
合格発表	2022年2月17日(木)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生入学試験(Ⅰ期・Ⅱ期)

募集人員	経済学部(経済学科)／経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)／メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名
出願期間	2022年1月4日(火)～1月18日(火)【締切日消印有効】
試験日	2022年2月2日(水)
合格発表	2022年2月17日(木)午後3時
出願期間	2022年2月7日(月)～2月22日(火)【締切日必着】
試験日	2022年3月2日(水)
合格発表	2022年3月11日(金)午後3時

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

8月の記録的大雨により、大学の近隣に位置する安佐南区山本学区において、民家に土砂が流れ込むなどの被害が発生。これをきっかけに、8月19日、本学は学内に備蓄されていた土のう袋2400枚とタオル約100枚を、山本学区社会福祉協議会と同連合自治会に寄贈した。本学では、これまで2014年の広島豪雨災害、2018年の西日本豪雨、2020年の記録的大雨による、近隣で発生した災害時に学生及び教職員によるボランティアを派遣し、土砂の撤去作業などに取り組んできたが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月19日時点では自治体でもボランティアの受け付けを見送っているとの声を聞き、少しでも何かできることはないかと、災害支援物資の寄贈を決めた。



災害支援物資を寄贈する石田優子学長

記録的大雨による土砂災害が発生した山本学区に災害支援物資を寄贈

第1回～第8回「国際スポーツサロン」のテーマ及び講師

実施回	テーマ	講師
第1回	オリンピック・ムーブメントとユース・オリンピック	エッサ・ガブリエル氏
第2回	イギリスのサッカーと私	ボビー・チャールトン氏
第3回	イタリアにおけるスポーツ参加とその予防医学	マウリツィオ・カザスコ氏
第4回	日本サッカーと国際ジャーナリストとしての私	マーティン・ヘーゲレ氏
第5回	国際スポーツマーケティングの動向	アンバー・スティール氏
第6回	メガスポーツイベントの将来とあり方	ダニエル・ルプフ氏
第7回	今治モデル(岡田メソッド)とサッカーのゆくへ	岡田武史氏
第8回	Sfida・挑戦＝イミオとMITREとFC琉球	倉林啓士郎氏

昨年と今年はコロナ禍で、国際スポーツを通して広島の国際化と街づくりを推進するプロジェクト「国際スポーツサロン」を設立して10年目を迎えた。その節目として、これまでに開催してきた講演会の記録をまとめた記念誌を刊行した。講演当時IAAF(国際陸上競技連盟)事務総長だったエッサ・ガブリエル氏や、サッカー元イングランド代表のボビー・チャールトン氏ら計8名の国内外の著名な講師を迎えてきた。昨年と今年はコロナ禍で



刊行された記念誌

「国際スポーツサロン」記念誌刊行

スポーツを通して広島の国際化と街づくりを推進するプロジェクト「国際スポーツサロン」を設立して10年目を迎えた。その節目として、これまでに開催してきた講演会の記録をまとめた記念誌を刊行した。講演当時IAAF(国際陸上競技連盟)事務総長だったエッサ・ガブリエル氏や、サッカー元イングランド代表のボビー・チャールトン氏ら計8名の国内外の著名な講師を迎えてきた。昨年と今年はコロナ禍で

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集 第44巻 第2号 (2021年11月) 上野信行教授 退任記念号

上野信行教授 写真・略歴・業績	丹羽 啓一(教授)
上野信行先生のご退任によせて	
【論説】	
内示データの時系列特性の分析	上野 信行(名誉教授)
	得津 康義(教授)
構造VARモデルの識別性と推定(Ⅱ)	
一非正規誤差項の場合―	前川 功一(名誉教授)
再考 日本の製造業における対外直接投資と中間財貿易	野北 晴子(教授)

◆広島経済大学研究論集 第44巻 第2号 (2021年11月) 平岡賢治教授 退任記念号

平岡賢治教授 写真・略歴・業績	
平岡賢治先生の退任によせて	田中 泉(教授)
【論説】	
スポーツ事故における傷害補償制度の国際比較研究(4/4)	
―アマチュアリズムと「危険の引き受け」―	内海 和雄(名誉教授)
日本の相続法における特別縁故者制度に関する研究	
―特別縁故者の資格要件と財産の分与割合―	餅川 正雄(教授)
【研究ノート】	
広島経済大学における学生の起業意識に関する調査報告	
	幸田 圭一朗(准教授)

学生の皆さんへ

『論集』には先生方の最新の研究成果が掲載されています。最新号は、1号館玄関・図書館・メディア情報センター等に置いてありますので、各自自由に持ち帰ってください。また、バックナンバーをご希望の場合は、地域経済研究所まで来てください。

保護者様向けメールマガジン配信中 (通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから“保護者の方”をクリックしてください。



本学図書館 所蔵書物紹介コーナー

「知の系譜」No.52

ファラデー「電気学の実験的研究」初版 全3巻 1839-1855年 ロンドン刊
Faraday, Michael, 1791-1867. Experimental researches in electricity.
London: Richard and John Edward Taylor, 1839-55.

本書は19世紀イギリスの科学者ファラデーの主著で、彼がイギリス王立協会の機関誌に発表した論文をまとめ、索引をつけて論文集のかたちで刊行したものである。
電磁気学において数多くの業績を残したファラデーだが、貧しさから子どもの頃は満足な学校教育を受けておらず、働ける年齢になると製本屋の徒弟になった。製本に回ってきた本を読んで、電気と化学に強い関心を抱いた彼は、ほとんど独学で知識や実験技術を身につけ、王立研究所の研究助手の道に進んだ。
全3巻からなる本書には、1831年から1838年までに彼が発表した論文14編がまとめられている。当初、論文を全て書き直して一冊の本として出版する計画もあったが、失敗も含めて研究の過程を詳細に知ってもらうため、あえて論文集として刊行された。当時の電磁気学研究の最先端として、ヨーロッパ中の科学者や技術者に読まれ、彼が発見した数々の実験的法則は後世の発明へとつながっていったのである。
著名な科学者となったファラデーは、王立研究所の教授になり、研究だけでなく、一般市民への科学の普及活動にも力を注いだ。科学実験を取り入れた講演会に熱心に取り組み、子どもたちを集めたクリスマス講演の講演録『ロウソクの科学』は、今でも世界中で読まれる名作である。

